



没後100年までカウントダウン!

1915年のドビュッシー

〈シヨパンへの想い〉

出演 金子鈴太郎 「チェロ」

高橋悠治 「ピアノ」

青柳いづみこ 「ピアノ／トーク」

100年前の1915年、
ドビュッシーは死に至る病と
第1次世界大戦にうちめされ、創作意欲を失っていた。
そんなとき、デュランから依頼されたシヨパン全集の校訂が彼を蘇らせた。
「最後の創作の夏」に次々と生み出された
『12の練習曲』『チェロとピアノのためのソナタ』『白と黒で』に、
晩年のシヨパンが新たな可能性をさぐった『チェロ・ソナタ』を配したプログラム。
優れたドビュッシー論もある作曲家・ピアニスト、
高橋悠治との共演も見逃せない。

- シヨパン チェロ・ソナタ ト短調 作品65 (1846)
- ドビュッシー チェロとピアノのためのソナタ (1915)
- *
- シヨパン 練習曲 作品25-1「エオリアン・ハープ」(1835-37)
- ドビュッシー 『12の練習曲』(1915) より
対比音のための／アルペッジョのための [青柳]
5本指のための／4度のための [高橋]
- シヨパン 4手連弾のための変奏曲 ニ長調 (エキエル補筆) (1826/1965補筆出版)
- ドビュッシー 2台ピアノのための『白と黒で』(1915)

2015.

9/26(土)14:30開演 [14:00開場] **HAKUJU HALL**

- 全席指定 一般 5,000円 / 学生 2,000円 ※学生券は東京コンサーツ (TEL 03-3226-9755) のみ取り扱い
- お問い合わせ・チケット取扱い (チケット発売3月19日)
東京コンサーツ03-3226-9755 (平日10:00~18:00) <http://www.tokyo-concerts.co.jp>
※東京コンサーツホームページにて予約、セブンイレブンで支払・受取ができます。
- チケット取扱い 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>

後援: 日本シヨパン協会 / 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)
大阪音楽大学研究助成公演 制作協力: 東京コンサーツ

※曲目・出演者は変更になる場合があります。



企画・制作 青柳いづみこ
なぜシヨパンなのか・・・
トークをお楽しみに!

没後100年までカウントダウン！
1915年のドビュッシー〈ショパンへの想い〉

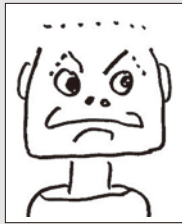


青柳いづみこ (あおやぎいづみこ/ピアノ&トーク)

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業。東京芸術大学大学院博士課程修了。武満徹・矢代秋雄・八村義夫作品を集めた『残酷なやさしさ』により、平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と執筆を両立させる希有な存在として注目を集めており、これまでリリースした9枚のCDが『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』（白水Uブックス）で第9回吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』（平凡社ライブラリー）で第49回日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』（中公文庫）で第25回講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』（カメラータ）でミュージックペンクラブ音楽賞を受賞している。ドビュッシーとその周辺をたどる試みとして、映像とトークを駆使した『黒猫詩人たちとドビュッシー』『ドビュッシーのグラナダ・シンドローム』などを開催、好評を博している。近著は『グレン・グールド 未来のピアニスト』（ちくま文庫）、『アンリ・バルダ 神秘のピアニスト』（白水社）、『どこまでがドビュッシー？—楽譜の向こう側—』（岩波書店）。CDには『ドビュッシーの神秘』（カメラータ）、『ミンストレル』（コンティニュー・クラシックス）、監修アルバム『眠れない夜に聴く、ミステリー・クラシック』（エイベックス）など。テレビ朝日『題名のない音楽会』、ラ・フォルジュレネ音楽祭にも出演。日本ショパン協会理事。日本ピアノ教育連盟中央運営委員。ピティナ正会員。大阪音楽大学教授、神戸女学院大学講師。

オフィシャルHP
<http://ondine-i.net>

公式Facebook
<https://ja-jp.facebook.com/aoyagi.izumiko>



え 柳生弦一郎

高橋悠治 (たかはしゆうじ/ピアノ)

1960年草月アートセンター、1974-76年季刊誌「トランソニック」、1978-85年「水牛楽団」「月刊・水牛通信」、以来は作曲・演奏・即興で少数の協力者と活動を続ける。2015年4月には新作連句による小オーケストラ曲が初演された。
<http://www.suigyu.com/yuji/>

著書：『高橋悠治/コレクション1970年代』（平凡社）『音の静寂静寂の音』（平凡社）『きっかけの音楽』『カフカノート』（みすず書房）



金子鈴太郎 (かねこりんたろう/チェロ)

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。国内外のコンクールで優勝、入賞。2003年～2007年大阪交響楽団首席チェロ奏者、2007年～2008年大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在は各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ等で活躍中。トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席、Super Trio 3°C、長岡京室内アンサンブル、ZAZA quartet、Quartet MARK 各メンバー。

オフィシャルサイト
<http://rintaro.online.fr/>

青柳いづみこの本
モノ書きピアニストの面目躍如。演奏の現場から生まれた音楽エッセイ

六本指のゴルトベルク
小説の中に出てくる数々の名曲。その深い意味を無類の読書家でもあるピアニストが読み解く
講談社エッセイ賞受賞 中公文庫 ● 705円

我が偏愛のピアニスト
読めば聴きたくなる！ 内外で活躍する日本人ピアニスト 10人の素顔と演奏の秘密
中公文庫 ● 724円

ドビュッシーとの散歩
ドビュッシーのピアノ作品40曲に寄せて、第一人者がその魅力と演奏の喜びを綴る
単行本 ● 1400円

ピアニストたちの祝祭
唯一無二の時間を求めて
ポリ・ニ・プロジェクト、別府アルゲリッチ音楽祭……。ステージの内と外から、ピアニストがとらえた、渾身の音楽祭見聞録
単行本 ● 850円

中央公論新社 〒104-8320 東京都中央区京橋2-8-7 www.chuko.co.jp ※表示価格には税を含みません

心の彩までも、意のままに。

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

SHIGERU KAWAI

株式会社 河合楽器製作所 〒430-8665 浜松市中区寺島町200 [お客様相談室 tel.053-457-1311]

青柳いづみこの
メルド
MERDE!日記
青柳いづみこ

青柳いづみこ 四六判並製・2500円
メルドとは仏語で〈くそつたれ〉のこと。自身のホームページに綴った日記をまとめたメルド変奏曲ともいうべきエッセイ集。モノ書きピアニストの大胆かつ繊細な偽らざる日常。

ショパンに飽きたら、ミステリー
創元ライブラリ(文庫判)・900円
ミステリー大好きなピアニスト、青柳いづみこが奏でる魅力溢れるエッセイ。

東京創元社 〒162-0814 東京都新宿区新小川町1-5 TEL03-3268-8231 ※表示価格は税別

白寿ホールアクセス

Hakuju Hall
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5 (株)白寿生科学研究所本社ビル7F TEL 03-5478-8867

- 電車 千代田線「代々木公園駅」出口1より徒歩約5分 小田急線「代々木八幡駅」南口より徒歩約5分
- バス 「富ヶ谷」停留所下車徒歩約1分(渋谷駅西口バスターミナルより約10分)
○京王バス 渋谷61(初台駅行) / 渋谷63.64(中野行) / 渋谷66(阿佐ヶ谷行) / 渋谷69(笹塚循環) / 八チ公バス 本町・笹塚循環 春の小川ルート